

# 「処置室の改善」

5の1：ダンボ 大塚陽子・松本まさ子  
 永野千鶴子・海野ますみ  
 仲田幸子・八木由美子

## 1. はじめに

昨年は、発表にこぎつけることができずに挫折したダンボでしたが、『今年こそは、賞金を獲得しよう』を合言葉に、一致団結してがんばりました。今年のメンバーは、他の病棟・病院から来た人ばかりです。この病棟に来て「処置が多くて忙しい」と同時に、「処置の準備・片づけに手間がかかる」という感想をもちました。そこで、現状把握し、一番問題の多い処置室に的を絞ってみました。

## 2. 改善前の現状説明

処置室の改善前（図1）

むかって右の木の棚は、幅が狭く奥行きがあるため、収納スペースが小さく、とり出しにくい、何が入っているかわかりにくい、という問題点があります。その為、棚に収納しきれず、机の上や、棚の上に物品を置いていました。左側の机は、採血のスピッツを準備する為のもので、それに必要な物品を収納しています。

ところが、引き出しの動きが悪いためにスピッツを入れることができなくなり、机の上に置かざるを得ないのが現状です。左側上方のイルリガートルは、

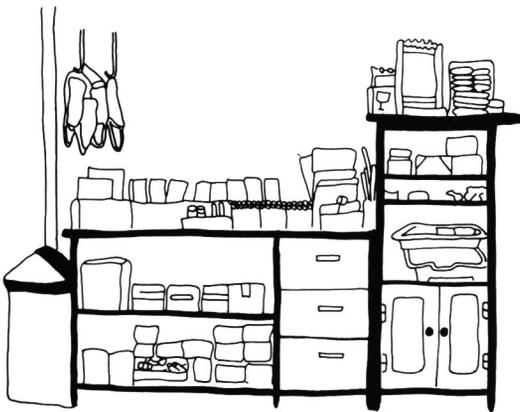


図1 改善前その1

陰部洗浄に使用する物品の1つです。置く場所がない為、やむをえず、ここにおいてありますが、水がポタポタしたりおちるため、机の上が一層きたなくなっております。

処置室の改善前（図2）

清拭車が置いてあるので、以前から、清拭物品をここにまとめて収納したいという声は、スタッフ間にあったのですが、収納スペースがなくて、この状態です。

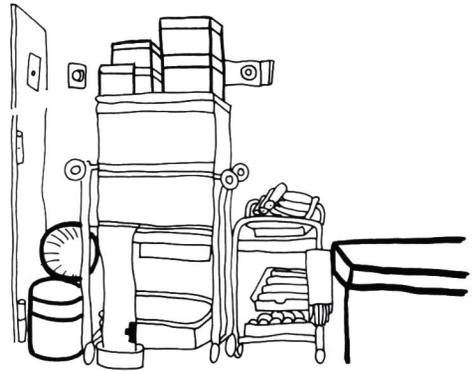


図2 改善前その2

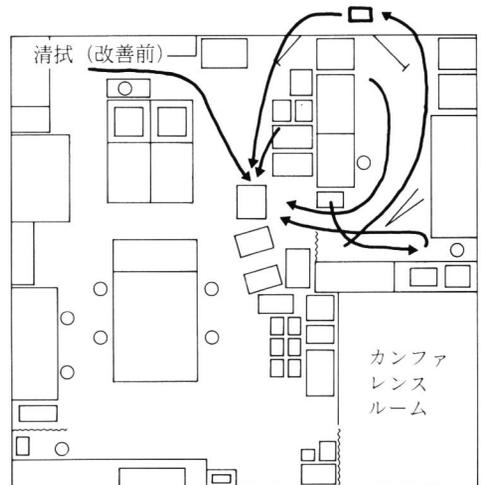


図3 5の1病棟ナースセンター配置図

「5の1病棟ナースセンター配置図」(図3)

現在、清拭・陰部洗浄をするには、このように、いろんな場所から物品を集めてこなくてはなりません。

この傾向は、他にもあります。患者が熱を出した時に、血液培養検査をやるがよくあります。その準備をするのに、これだけ動きまわるのですが、これだけいろんな場所から集める上に、突発的に

こることなので、忘れ物も多く、もっと動きまわることになるのです。

これらのことをふまえて、要因図をつくりました。(図4) その中で、収納庫・場所・物品の要因についてとりあげ考えました。そして、1. 収納スペースの拡大と2. 用途別に物品を収納するの2点を満たす対策をたてました。

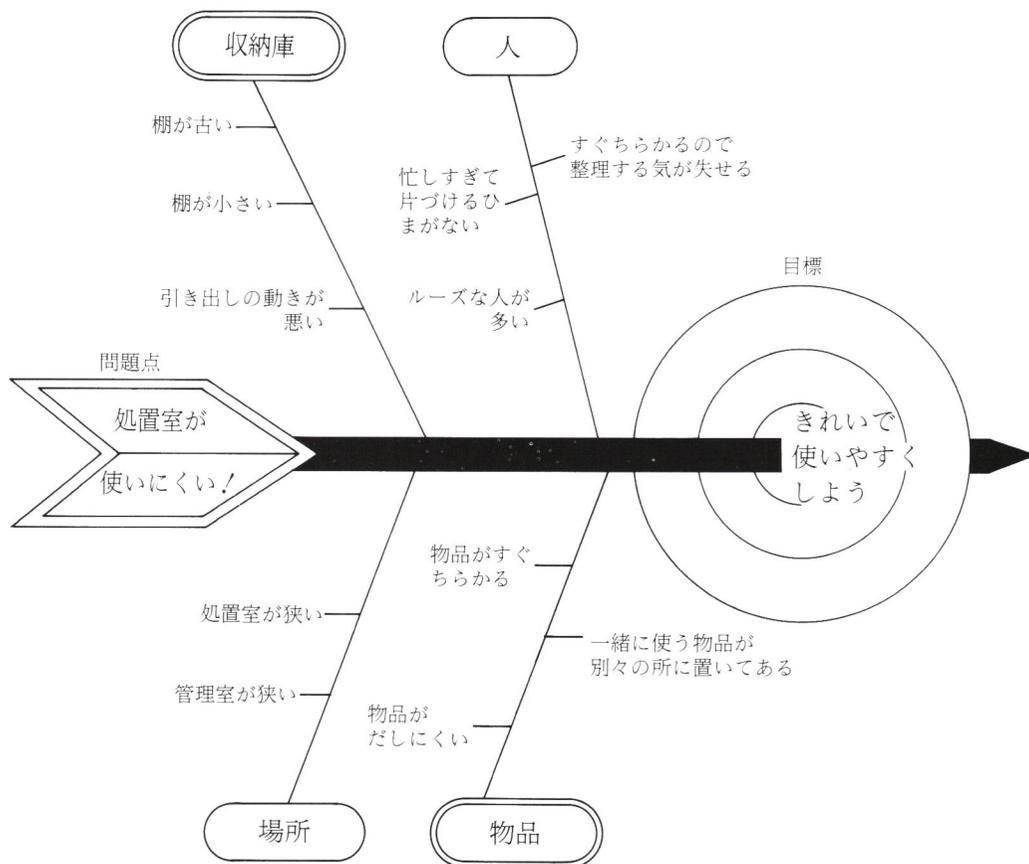


図4

### 3. 対 策

- ① スチール棚を購入し、収納スペースを拡大しました。それに伴い、動きの悪い引き出しと、収納スペースの小さい木の棚を除去しました。
- ② ①で不要になった棚を改善し、清拭に使う物品をまとめて収納しました。
- ③ 1つ1つの処置に必要な物品を、トレイにまとめました。(例：血液培養検査トレイ、採血トレイ)  
対策1では、収納スペースを拡大しました。動き

の悪い引き出し部分を切断し収納スペースの少ない木の棚を除去し、スチール棚を購入しました。(図5) このスチール棚は、上段は扉がないため、一目でおいてあるものがわかるし、とりだしやすいので、使う頻度の多い採血トレイ、血液培養トレイなどを置いてあります。下段は、扉がついているため、テープ・包帯などのストックを清潔に保管できます。また、検査用スピッツのストックなど、乱雑に見えがちなものを入れることで、処置室全体をすっきり見せることにつながります。



図5 改善後その1



図6 改善後その2

対策2では、清拭に使う物品をまとめました。(図6)対策1で使わなくなった木の棚を、施設課の協力を得て、改善しました。陰部洗浄で使う、イルリガートルを吊す金具をつけ、使用後のタオルを入れる、バケツを収納する為に、下段の扉を取り、棚が動くようにキャスターをつけました。キャスターをつけたことには、理由があります。5の1病棟は、重症患者、準重症患者が多く、大部屋の患者が急変することもよくあります。その時は、処置室のベッドなどを廊下に運び出して、患者をベッドごと処置室に移送し、急変時の対応に備えます。なぜなら大部屋は、人工呼吸器などを置くスペースがないばかりか、スタッフ2~3人入るのが精一杯で、処置どころではありません。その為、清拭車の置いてある壁側は、看護婦の力で運びだせるものしかおくことができません。それで、木の棚にキャスターをつけ

たのです。このようにして、改善した木の棚に清拭に使う物品をまとめ、清拭車の横におきました。それより、以前図3のように複雑であった動線が、すっきりとし、働きやすくなりました。(図7)

対策3では、血液培養検査トレイ・採血トレイをつくりました。その結果、血液培養検査の場合も複雑に動きまわる必要がなくなりました。

#### 4. 効果・判定

これらの対策を実施してから、スタッフにアンケートをとりました。

1. 全体的に見た感想は、良い83%、まあまあ16%とほぼ全員から良いという評価を受けました。
2. 机では、よい、まあまあで61%
3. スチース棚では、よい、まあまあで95%
4. 木の棚では、よいだけで72%と特に高い評価を受けました。

気づいたことについても、すでに改善された部分が多くあります。

#### 5. 歯止め

私達は、古くなった机と棚を無駄にせず、最大限にいかすことにより、能率の良い仕事場に改善できたことが、今回の大きな利益です。その結果として、

1. スチールの棚を購入することにより、収納スペースを拡大しました。
2. 不要になった棚を、有効に使うことで、清拭物品をすべて収納することができました。
3. 一緒に使う物品は、一カ所にまとめて専用トレイとして収納しました。

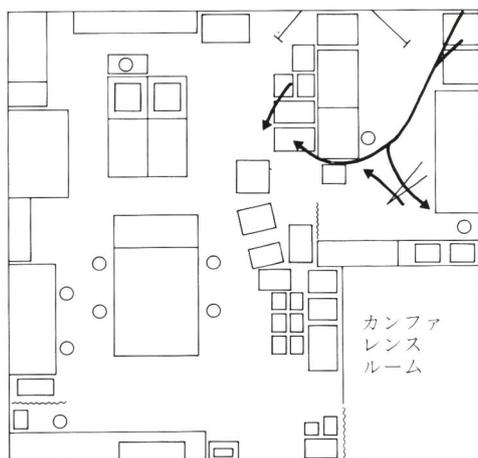


図7 5の1病棟ナースセンター配置図